Japan Business Association of Houston

Gulf Stream

12651 Briar Forest Drive, Suite 105 Houston, TX 77077 TEL: (281) 493-1512

Volume 43 No. 9
June 2018

www.jbahouston.org

JBAH

ラッフル抽選会

岩崎総領事代理

商工会会長賞当選者

商工会・日本人会共催ピクニック

United賞当選者

ANA賞当選者

毎年恒例の日本商工会・日本人会共催のピクニックを5月20日（日）にJones Creek Ranch で開催いたしました。

当日は、少し雨が降るなど天候が心配されましたが、大事には至らず、参加者840名という大勢の方々にご参加頂き、盛大なピクニックになりました。

参加者の皆様はバーベキューや、バスケットやバレーボールなどのスポーツを楽しまれました。また、恒例のサックレースやゲームコーナーも多くの方々に参加いただき、お子様向けバウンシングアトラクションや動物園についても例年通りの人気で、走り回って楽しむ子供たちの笑顔がとても印象的でした。

午後の閉会式では、岩崎総領事代理にご挨拶いただき、その後サックレースの年代別結果発表ならびに表彰式が行われました。

また、メインイベントのラッフル抽選につきましては、日本往復航空券2枚を含む400点近くの豪華賞品（事前抽選含む）が用意され、抽選クジが引かれるたびに大きな歓声が上がり、会場は大変な盛り上がりを見せました。抽選会後の片付けも含め、大きな怪我・事故等なく無事ピクニックを締めくくることができました。

最後になりますが、幹事としてご尽力いただいた会員企業ならびに日本人会の皆様、当日の運営をお手伝い下さったボランティアの皆様、そしてラッフル抽選の賞品をご提供いただいた協賛者の皆様など、多くの方々から多大なるご協力を賜りました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

（文責：ヒューストン日本商工会 文化委員会）

→6ページに続く

目次

1...ピクニック
2...商工会理事委員会議事録
3...会員消息・会社紹介
4...テキサス会・Economic Summit
5...パネルディスカッション
6...ピクニック・日本人会
7...日本庭園セレモニー・告知
8...ハリケーン準備
9...ハーピー体験談
10...テキサス・メディカル最前線
11...駐妻日記・ピーカンキッズ
12...知っとん・Houston Walker・編集後記

平成29(2017-2018)年度　5月度 商工会理事委員会 議事録

会員限定

会員消息 ＜敬称略／カッコ内、配偶者名＞

会員限定

ヒューストン日本商工会
会 社 紹 介

Waterview Consulting Group, Inc.
Steve Fowler さん

1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

Since inception Waterview has supported the true globalization of Japanese companies through customized education programs. The in-person and e-learning modules are tailored to inform the company employees about the local professional culture and customs necessary to perform well in the local environment. Specific programs include onboarding new employees and corporate human resources training. Our company has both consulting and coaching professionals who are skilled in handling projects to assist our clients one-on-one as well as group training.

2. ヒューストン／テキサス州の印象についてお聞かせください。

I have lived in Houston for over 10 years already. Houston is a vibrant city located in one of the most economically advantaged states in the U.S. Houston has a wide range of wonderful things to enjoy, including professional sports, the arts, and many museums. Most importantly, Houston has a multi-cultural environment where people from all over the world have come to live and be professionally successful. Houston is known for its friendly people and their desire to continue the warm friendly atmosphere even as we have become one of the largest cities in the country.

3. その他、個人的な関心事（趣味等）についてお聞かせください。

I like to go to the theatre (Broadway style), follow professional sports, and have a big passion for all things related to the University of Houston. I am very involved in my church and in local charity work as well.

第560回　テキサス会「United杯」開催

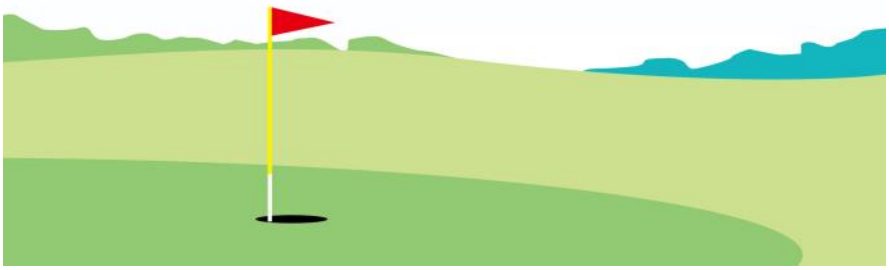
5月13日（日）に商工会・日本人会共催第560回テキサス会「United杯」ゴルフトーナメントがRiver Plantation Golf Club にて開催されました。例年は秋頃開催している「United杯」ですが、今年は都合により春の開催となりました。当初は参加者数が伸びず、小規模での開催が危惧されたところですが、最終的には60名もの方々にご参加いただき、天候にも恵まれ盛会となりました。

今回も、前回同様、ダブルペリア方式でトーナメントを開催致しました。結果は、Marubeni America Corporation の平澤さんがグロス87、ネット69で男性の部及び総合優勝の2冠を獲得、女性の部はJapan Machine Tools, Corp.の山地さんがグロス84、ネット69.6で優勝されました。総合優勝の平澤さんには、ANA名川様よりUnited航空日本往復航空券が授与されました。

今回も会員企業、日本人会、日系レストランの皆様から沢山のご寄付を頂き、大会を盛り上げていただきました。また、幹事部会をはじめ関係各位のご協力の下、無事にトーナメントを開催することができました。この場をお借りし、皆様に厚く御礼を申し上げます。

次回、第561回テキサス会「総領事杯」は2018年9月に開催予定です。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げております。

（文責　大会幹事：運輸・サービス・金融・貿易部会　IINO LINES (U.S.A) INC.）



中央が平澤さん

左が山地さん

日本テキサス経済サミット開催

ドナ・コール米日カウンシル理事によるレセプションでのスピーチ

5月7日より3日間、米日カウンシル主催「日本テキサス経済サミット」がMarriott Marquis Houstonにて開催されました。商工会は、当サミットをサポートする日米50の「Collaborating Partners」団体の一員として、スポンサー紹介、セミナー案内、ボランティア募集などを行い、主催都市ヒューストンとしての準備と協力を行いました。

（編集部）

＜プログラム（8日）及び演説者＞

特別公演：杉山駐米日本国大使、パブロス・テキサス州務長官

基調講演：前田JETRO理事、カルペッパー・シェルオイル社長、大村愛知県知事、早川経団連副会長・トヨタ副会長

パネルディスカッション「日本企業の新たなビジネス・テキサスにおける機会」：シーファー元駐日米国大使、蛭子グッドマン社社長、茅野伊藤忠インターナショナル社長、サットン・クボタクレジットコーポレーション社長

分科会パネルディスカッション：1. 安全保障と防衛：米国と日本における国家安全保障、2. エネルギーと環境をめぐる展望：日本とテキサス、3. ヘルスケアと医療：日米のヘルスケア課題に取り組む医療革新ハブ、4. 教育と労働力開発：未来の人材育成に向けたテキサスと日本のパートナーシップ

地域経済開発プレゼンテーション：各テキサス州主要都市長・代表者、大分市長・千葉副市長、熊本観光交流部長

このサミットでは、成長著しい日本とテキサス間の経済を中心とした幅広い分野について議論されましたが、会場は400人近い参加者で埋め尽くされ、プログラム全般を通じてテキサスの勢いと、テキサス州と日本の双方が持つ関心の高さが窺えました。

大村愛知県知事によるスピーチ

翌日の地元新聞「The Houston Chronicle」朝刊では写真付きで報道され、またアイリーン・ヒラノ米日カウンシル会長からはヒューストン開催は「very successful」との報告があり、ヒューストンの地位向上と、草の根での日米関係を盛り上げることにもつながるイベントでした。

8日夜のプログラム「地域ホスピタリティー・ルーム」では、日本とテキサスの11都市・地域連合による夕食会兼都市紹介が行われ、各都市自慢のフードやドリンクが参加者に振舞われました。ターナー・ヒューストン市長にも参加いただき、主催都市長として参加者・スポンサーとの握手や写真撮影に丁寧にご対応いただきました。

商工会を代表してボランティアや参画いただきました会員の皆様、ありがとうございました。また、同カウンシル理事ドナ・コール氏からは、サミットで使用された飲み物をピクニックに寄付していただきました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

（文責：特命理事（他団体対応）
名川譲（All Nippon Airways Co., Ltd.））

2日目のサミット本会議は、400人近くの参加者で会場が埋め尽くされた。登壇者はパブロス・テキサス州務長官。

特別講演者：左からドナ・コール米日カウンシル理事、大村愛知県知事、アイリーン・ヒラノ米日カウンシル会長、ヘンリー・シスネロスシティービュー創設者兼理事長

ジャパンフェスティバル25周年記念レセプション：過去から未来へつなぐパネルトーク

4月14日、今年で25年目を迎えるジャパンフェスティバルの記念行事が、日本からの舞台出演者や日米交流関係者を招いて、総領事公邸で開催されました。今回は、日本テキサス関係についてのパネルトークと舞台出演者らによる特別公演もありました。

その中でも本稿では、パネルトークについて紹介します。以下3名をパネリストにお迎えし、ジャパンフェスティバル開始から今までの25年を振り返りつつ、1ヵ月後の日本テキサス経済サミットを前に、今後の日本とヒューストンの関わり方について、パネルトークを行いました。

(注:パネリストの英語の発言を日本語に要約。)

パネリスト:　**グレン権藤氏(2018年ジャパンフェスティバル実行委員長)**
ビル・ワイランド氏(JASH会長)
ドナ藤本コール氏(日本テキサス経済サミット実行委員長)

左から岩崎総領事代理、グレン権藤氏、ドナ·コール氏、ビル・ワイランド氏

1. グレン権藤氏

ー近年土日で3万人の来場者数を誇るヒューストンのジャパンフェスティバルは、全米中の日本関係のお祭りの中でも最大規模のひとつ。今年のフェスティバル実行委員長の権藤氏は、第一回目の実行委員長でもあった。フェスティバルを始めたきっかけは?

「日本庭園ができたからで、日本と日本人の存在をヒューストンの人に親しみを持って迎えてもらうためだった。」

ーこれほど人気のある大きなイベントになると予想していたか?

「最初の来場者は2500名程度。ここまで大きくなるとは思わなかった。いろいろな層の人たちに受け入れられていて、大変嬉しい。」

ー今のジャパンフェスティバルは権藤さんの思い描いていた通りか?ご自分が理想とするジャパンフェスティバルの形とは?

「私の両親は子供の頃太平洋戦争前に渡米、結婚して日系3世である私が生まれた。両親がアメリカに来た時は、日本人の地位は低く、戦争中はさらにひどくなった。終戦後も人種差別に苦しんだ。60年代、日本人はひどく差別されていたが、その後改善され、日本の経済力を背景に、90年代にはずっと良くなった。私の両親はレストランをやっていて、日本文化をアメリカ人に知ってもらうことが使命のひとつと教えられて私は育った。日本文化を知ってもらうことで差別がなくなると思ったため、その具体的な形として、フェスティバルの開催を計画し、ジャパンフェスティバルとなり、日本文化を知ってもらう絶好の機会になっていると思う。」

ージャパンフェスティバルは、ご自分の商売にどんな影響を与えているか?

「ジャパンフェスティバルは自分の商売のためにやっているのではない。みんなが楽しんで、日本文化を体験して、日本の良さをわかってもらうためにやっており、純粋に、自分が日米をつなぐ架け橋となりたいからやっている。商売につなげようと思ったことはない。」

2. ビル・ワイランド氏

ージャパンフェスティバルは、ハーマンパークで開催できる唯一の外国のお祭りである。これは、昨年25周年を迎えた日本庭園のおかげだと思われる。ワイランド氏は、日本庭園設立計画に初めから参画するなど、日本コミュニティと強く結びついて協力してきたが、そもそもなぜ日本庭園の設立に関係したのか?

「私の両親には仲のよい日本人の友達がいて、自分もその人たちと昔から親しんできた。今では、自分の子供や孫にも日本人の友達がたくさんいる。昔から日本人と一緒にいろいろなことをやるのが自分では自然なことだった。80年代に日本庭園設立の話が持ち上がったが、資金がなかなか集まらずに計画が頓挫しかかった。しかし、その後90年に、当時の堀総領事と川島商工会会長の強力なリーダーシップにより、庭園設立の動きが活発になった。ウィットメヤー市長も協力的で、日本コミュニティやアメリカ各企業からもお金が集まり、91年に秋篠宮殿下と当時の海部総理大臣がヒューストンに来て、日本庭園の代表的な設計家である中井皓允氏の設計で日本庭園の工事が開始された。そのときに、私は日本とヒューストンの橋渡し役の一人として加わった。」

ーなぜ、ジャパンフェスティバルはハーマンパークで開催されるのか?日本庭園の存在がどのようにかかわっているのか?

「日本庭園ができたあとも、その存在が人に知られることがあまりなかった。その隣でイベントをやれば、たくさんの人に存在を知ってもらえる。そういう意図でハーマンパークで始まった。」

ーヒューストン日米協会は、ジャパンフェスティバル実施の中心団体であり、日本庭園保全の最大の協力団体のひとつでもある。その会長を2年務めたワイランド氏の立場から、これからのフェスティバルと日本庭園に望むことは?

「今年は、初代委員長の権藤氏の強力なリーダーシップと、ドナ・コール氏の絶大な協力、ヒューストン日本商工会とグレーターヒューストン日本人会の貢献のおかげで、素晴しいものになった。その上、斎藤明美氏らの尽力により、最高レベルの舞台出演者をよぶことができた。たくさんの人々が力を合わせた結果、日本の伝統的なお祭りにより近い25周年にふさわしいフェスティバルになったと思う。いろいろな団体が力をあわせてひとつのイベントを作り上げたということが一番良かった。そして、このフェスティバルの収益金で日本庭園をサポートしているので、フェスティバルが発展すれば、日本庭園の保全・発展にも大きく貢献できる。双方にとって良いこと。」

3. ドナ藤本コール氏

ー日系3世であるコール氏は、これまで様々な分野において様々な形で、ヒューストンに日本を紹介してきた。また、ジャパンフェスティバルでは、特別展や舞台出演者の手配、ブースの出展など、毎年大きな貢献をしている。しかも今年は、5月に開催される日本テキサス経済サミットの実行委員長にもなった。このサミットは、昨年ハワイで開催されたもので、テキサスでは初めて行われるもの。今までのジャパンフェスティバルでの経験が、サミットをヒューストンで開催したいという動機につながったのか?

「子供のころ、日系人ということで大変ないじめに遭い、日本人にしか見えない自分の顔が大嫌いで、こんな顔じゃなかったらよかったのに、とずっと思っていた。しかし、大きくなって、自分自身が日本を知ることで日本が好きになったし、アメリカ人にも日本を知ってもらって好きになってもらいたいと思うようになった。今は、自分が日系人であることを大変誇りに思い、日米を近づけるのに役立つことであれば何でもしたいと思っている。ジャパンフェスティバルはその一環であり、いろいろな活動をしてきた中のひとつとしてサミットの実行委員長になった。」

ー日本テキサス経済サミットとは?

「日本の企業が自分たちの会社や製品を紹介したり、日本人とアメリカ人が、様々な経済分野のことについてパネルディスカッションをしたり、一堂に会して交流する場を設けるというもの。ヒューストンだけでなく、ダラス、サンアントニオ、オースティン、エルパソ、マッカーレンからもブースが出る。愛知県知事や経団連、その他の日本企業の主だった人たち、テキサスからもアボット知事や経済関係団体の主だった人たちを招待している。」

ーそのサミットは、テキサスやヒューストンの日本コミュニティにとって、どんな役に立つのか?

「日本の企業に焦点を集めて紹介することで、アメリカ人がテキサス内の様々な地域にある日本企業を知ったり、日本企業がテキサスの各都市の紹介を聞くことで進出地の参考にしたりと、お互いが今後の商売につなげていってもらえればと思う。」

今年25周年を迎えたジャパンフェスティバルは、この地に根付いた日系を含む米国人の方々の熱い想いの結晶であることが、パネルトークでよくわかりました。それを25年間続けてこられたのは、この地に集まってきた日本人の協力ももちろん大きな原動力になっています。そして、日本に興味を持ち、日本を愛し、日本を理解してくれるアメリカ人の存在は重要です。どれが欠けても、フェスティバルは成り立ちません。これからも続いていくフェスティバルでは、初心を忘れず日本人、日系人、アメリカ人がともに盛り立てていくイベントにしたいものです。

また、フェスティバルで培った親日の土壌から、今年の日本テキサス経済サミットのような大きなイベントが開かれることとなったのです。こういった草の根からの日本とアメリカの結びつきが、文化や経済の共存共栄へとつながっていくことを強く確信しています。

(文責:ヒューストン総領事館)

グレーターヒューストン 日本人会

～満腹は満面の笑みと満足の素～

5月20日（日）、日本人会会員が最も楽しみにしている恒例行事のひとつ、商工会・日本人会合同ピクニックは、今年は幸い、薄曇りの過ごしやすい日に当たりました。当日は全体で840名以上参加、各グループ・企業ごとにそれぞれ趣向を凝らしたBBQが盛況に行われました。

日本人会では、在ヒューストン総領事館、JAXA、岩谷産業、JETRO、ANAの団体が合流し、100名を超える大所帯となりました。開場時間になると、早入りグループがテント・バーベキューグリルを立ち上げ、テーブルの配置を開始。9時には早くも調理開始という手際のよさに、日本人会のチームワークと意気込みが表れていました。9時20分、武智会長の挨拶と諸注意に続き、これも恒例の岩谷産業西垣さんによる「エイエイオー」の関（トキ）の声。これで日本人会のピクニックは公式に開始となりました。

今年も定番の60ポンドの「高級リブアイステーキ」、前日からガーリックで下味をつけた「ネギ塩チキン」、ヒューストンで最も美味しい「つくね」のBBQや、恒例の焼きそばは非常に好評でした。岩谷産業のたこ焼きコンロでの「本場の大阪たこ焼き」は外はカリカリで中はトロリと出来上がり、出来立てを冷ましながら食べていました。

日本人会特製の「綿菓子」は多くのピクニック参加者へ配布されました。特に子どもたちは長蛇の列になって、ようやく手にした綿菓子の大きさ比べをしていました。「もう食べられない！」と言いながら食べ続ける人、ビール片手に談笑する人、グリル奉行と化して次々と肉を焼く人などなど、それぞれが思い思いに楽しんだ、和やかでにぎやかな1日となりました。

またJAXAから星出宇宙飛行士が参加されていましたので一緒に写真を撮りに来られる方も多くみられました。

各グループでの食事が終わったころ、2枚の日本往復航空券、ティファニーの豪華景品・ギフト券・食事券等が多数当たる抽選会が行われ、大きな盛り上がりのうちに閉会を迎えました。

日本人会では今後もヒューストンの日本人コミュニティーが楽しく参加できるイベントを数多く企画していますので、是非参加されることをお待ちしています。　（文責：日本人会広報部）

国立太平洋戦争博物館における
平和日本庭園再開所式

4月30日（月）、テキサス州フレデリックスバーグ市所在の国立太平洋戦争博物館にて、平和日本庭園再開所式が行われました。

ドイツ系移民の町であるフレデリックスバーグ市は、ヒューストンから西に約240マイルの距離にあり、第二次世界大戦中アメリカ太平洋艦隊司令長官であったニミッツ提督の生まれ故郷です。国立太平洋戦争博物館は、太平洋戦争についての史実を伝えることを目的に、1968年にニミッツ提督の博物館としてスタート、その後国立太平洋戦争博物館と名前を変えて今日に至り、太平洋戦争に関する充実した研究や資料で知られております。この博物館には平和と友好の証として日本人からアメリカ人に送られた日本庭園があり、また、ニミッツ提督は東郷平八郎元帥を尊敬していたことから、東郷元帥の書斎を再現した建物もあります。2016年に日本庭園の改修工事が終わり、これを祝して再開所式が行われることになりました。

前日の29日（日）には、カバノー博物館館長による博物館ツアー、レセプション、ディナー及びムーンライトティーセレモニーが行われ、日本からは原田義昭衆議院議員及び青山繁晴参議院議員が参加しました。ヒューストンからは、総領事館、日本商工会、日系人関係者の出席に加え、文化団体も参加、レセプションでは雷太鼓による力強い演奏、ムーンライトティーセレモニーでは東郷元帥の曾孫にあたる保坂宗子氏と裏千家淡交会ヒューストン支部のみなさまによるお点前が披露されるなど、日米交流の促進に寄与しました。

再開所式当日、早朝には空を厚く覆っていた雲も去り、日射しがまぶしい中、日本からは原田議員、青山議員に加え、中山泰秀衆議院議員、杉山駐米大使が、米国からはハギー・ニミッツ提督基金会長、ナウ・テキサス州歴史委員会代表、クラウダー元米海軍第7艦隊司令官、シーファー元駐日大使、マイヤー・フレデリックスバーグ市長らが参加し、それぞれ強固な日米同盟、日米関係の未来志向についてスピーチを行いました。式典の最後には平和及び日米の友好関係を祈念し、記念植樹が行われました。また、この日も雷太鼓と裏千家淡交会による文化行事が行われました。

これまでの日米関係の歴史を米側視点から見ることのできる同博物館を訪れることで、現在の両国の友好関係を更に実感することとなります。

「この日本庭園こそが日米の真の和解の象徴である」（中山外交委員長）

（文責：総領事館）

三水会センターからのお知らせ

独立記念日ホリデーのため三水会センター（図書館、商工会及び補習校事務局）が下記日程で休館になります。なお、休館に伴い図書返却日も一部変更されます。貸出日から2週間先の返却日が休館期間に該当する場合は3週間の貸出となります。

（ 例　貸出日：6月19日　返却日：7月10日 ）

休館期間：2018年7月3日（火）～2018年7月7日（土）

また、三水会センターは7月中旬に移転予定です。詳細は追ってメールとホームページにてお知らせいたします。

ハリケーン対策特集

安全情報発信～ハリケーンに備えて～

テキサス州において大規模災害として想定されるものにハリケーンがあります。連邦緊急事態管理庁(Federal Emergency Management Agency, FEMA)によれば、ハリケーン・シーズンは6月1日から11月30日となっています。また、アメリカ海洋大気庁(National Oceanic and Atmospheric Administration, NOAA)によれば、昨年(2017年)は、暴風雨を伴う熱帯性低気圧は17回、そのうちカテゴリー1及び2のハリケーン(風速74マイル～110マイル)が10回、カテゴリー3から5の大規模ハリケーン(風速111マイル～157マイル)が6回発生しました。

2018年については、気象関係機関・研究所等が4月頃から予想を発表しており、コロラド州立大学の4月5日現在の発表によると、本年は、昨年よりはハリケーンの発生数は少なくなる見込みであるも、ここ例年の平均よりもハリケーンの発生数は多くなると見込まれています。具体的には、暴風雨を伴う熱帯性低気圧は14回、そのうち、カテゴリー1及び2のハリケーンは7回、カテゴリー3から5の大規模ハリケーンは3回程度発生する可能性があるとのことです。ハリケーン・シーズンの中で、テキサス州沿岸部等のハリケーン到来は8月から9月が最も多いとされています(5月や12月にも2%程度発生しています)。この予測は4月5日現在のため、今後変更となる可能性があります。

昨年8月、ハリケーン・ハービーがテキサス州に上陸し、記録的豪雨の影響でヒューストンをはじめテキサス沿岸部に甚大な被害をもたらしました。

このことからもハリケーン対策については、日頃からの準備がとても重要です。当館ホームページ(http://www.houston.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/ryoji_hh_kanren.html)では、ハリケーン・ハービーの教訓を踏まえ、日頃の備え、ハリケーン上陸から上陸後に発生しうること、またハリケーン関連情報入手先等の案内をしております。ぜひ一度ご確認ください。また、当館ではハリケーンなどの災害時には在留届にある情報に基づき情報発信等を行います。ご提出がまだの方はご提出のほどお願い申しあげます。

ハリケーン対策グッズ・リスト(例)

ハリケーン対策の一環として準備しておくとよい防災グッズの一例をご紹介します。ご家族の状況に応じて、以下例をご参考の上、ハリケーンに備えて事前に準備されることをお勧めします(◎は必需品、○は可能であれば準備をお勧めするもの、□はあると便利というものです。)

(文責:総領事館)

	項目	留意点等		項目	留意点等
□	◎飲水	通常一人当たり1日1ガロン14日分を準備。	□	○現金	カード・ATMが使えない場合あり。できるだけ小額の現金を準備。
□	◎衛生用水	トイレ，シャワー用。バスタブ等を利用して貯水。			
□	◎食料	保存可能な食料を人数分×14日分以上準備。 【例】パン，各種缶詰(肉，野菜，フルーツ等)，スープ類，ドライフルーツ，ナッツ類，ゼリー，飲物，高カロリー食品，冷蔵を要さない野菜，調味料等，火が不要な保存食	□	○衛生用品	【例】トイレットペーパー，ウエットティッシュ，石鹸，消毒用アルコール，洗剤，生理用品，洗面用品(歯ブラシ，シャンプー，洗顔用品等)，マスク，ふた付きバケツ，ごみ袋，ビニール袋等
□	◎懐中電灯	一人1つ準備が望ましい。予備電池を準備。	□	○緊急時の持出キット	食料，飲み物，衛生用品に加えて現金，パスポート等貴重品類等を入れたバック(防水性が望ましい)，救助，急遽退去命令が出された際に携行。
□	◎携帯ラジオ等	携帯テレビも有用。予備電池を準備。	□	△コンパス	避難時に使用。
□	◎救急医療品	【例】各種サイズの絆創膏，安全ピン，ゴム手袋，ガーゼ，三角巾，包帯，はさみ，ピンセット，針，ウエットティッシュ，消毒剤，体温計等	□	△ドライアイス	保存が効き，冷蔵に使用可能。
			□	△チューブテント	家が倒壊した場合，避難先等で利用可能。
			□	△処方箋	必要であれば，避難前に薬局等で処方箋を書いてもらう。
□	◎ガソリン	車のガソリンは常時3分の2以上入れておく。			
□	◎携帯電話等	携帯電話，ポータブル式充電器(乾電池式)，ソーラー式充電器	□	△消火器	小型のものが望ましい。
□	◎重要文書一式	重要文書は直ぐに持ち出せるように準備。 【例】旅券，保険証書，出生・結婚証明書等。			
□	○食器類等	箸，紙皿，紙コップ，プラスチック容器等。	その他 (各ご家庭の事情に応じて)		赤ちゃん用の乳幼児用食品(ミルク等)，おむつ，赤ちゃん用の薬
□	○調理器具	携帯ガスコンロと燃料，缶切り，ナイフ等。			ペット用の水，食料，ケージ等
□	○寝具等	寝袋，エアマット，毛布，タオル等。	【緊急連絡先】 ご家族の緊急連絡先をご記入ください。		
□	○常備薬	使い慣れた薬(頭痛薬，風邪薬等)			
□	○マッチ・ロウソク	防水用の缶等で保管すること。			
□	○食器類等	箸，紙皿，紙コップ，プラスチック容器等。			
□	○工具	【例】ペンチ，テープ，アルミホイル，ソーイングセット，スパナ，ペン，紙等			
□	○衣類	着替え以外にも，予備の靴，長靴，雨具等も準備しておくとよい	●在ヒューストン日本国総領事館 TEL:713-652-2977　FAX:713-651-7822		

ハービー体験談

歴史的な水害をもたらしたハリケーンハービー襲来から約10か月。今年もまたハリケーンシーズンを迎えました。ハービーを体験した会員の方に体験記を寄せていただきました。ハリケーン準備情報もぜひお役立てください。

■居住地域
Memorial

■避難の有無
自主避難

■避難先
親族、友人、知人宅

■避難期間
1週間から2週間

■被害の状況
1階部分　3フィート程の浸水
家具(ソファー、ダイニング、TV台、食器棚 等)、
車2台(廃車)、停電

■ハリケーン前の準備状況

水、食料の買出し、排水溝のチェック、給油、バスタブに水を溜めました。(お風呂の栓のみですと、少しずつ水が流れて減ってしまうので、ビニールのテーブルクロスを敷いてから水を溜めました。)

■避難の状況など差支えない範囲で教えてください

2017年8月27日(日)の朝の6時半ごろから停電し、外を見てみると、家の前まで水が来ていました。車で脱出しようにも、1つしかないタウンハウスのエントランスは腰の高さまで水が来ていた為、車での脱出は断念。急いで1階にあった荷物を2階に避難させ、しばらく2階のみで生活が出来るように整えました。30分もしないうちに水が家の中に入ってきましたので、水の中を歩きながら荷物を2階に運びました。そんな折、友人から連絡をもらいお宅に避難させて頂けるとのことで、リュックサックに当面の着替えを詰めて徒歩で家を後にしました。

その後、友人宅に2泊お世話になり、なんとか探したホテルに1週間泊まりました。ホテルは1週間まとめて予約が出来ず、毎朝フロントで今晩の部屋を確保する毎日でした。

■そのほかハリケーンに関して体験談や、アドバイスなどご自由にお書きください

当初、水はすぐに引くと思っていましたが、ダムの放水の発表で洪水が長引くことを知り、すぐにアパートを探し始めました。

私達と同じように探し回っている方が多く、家族向けの部屋はすぐに空きがなくなるという状況でした。

浸水した家にはほぼ毎日様子を見に行きました。水深が深く、手前の道路までしか行けない日が続きました。ボランティアの方が舟を出してくださり、順番を待ってボートで家に向かいました。家の前でボートを降り、ウエストまである水の中を歩いて玄関に向かいました。持てるだけの荷物を持って、歩いて岸に戻りました。家が長い間 水に浸っている状態ですのでカビの心配があり、2階の部屋に除湿剤を沢山置いておきました。

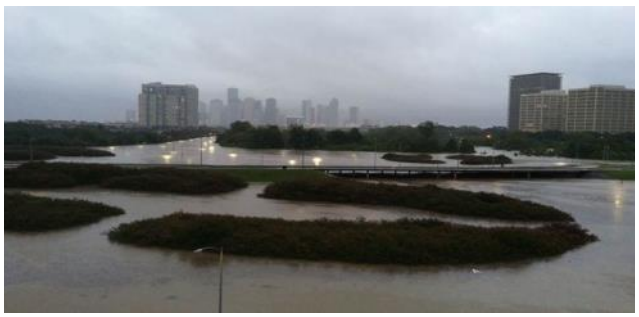
水が引いてからは引越しの準備をし、運べるものから順次自分たちで運んでいきました。ベッドなどの重いものは引越し屋さんにお願いしました。

二人の息子達も協力して作業する姿になんだか成長を感じました。周りの方々にも沢山お世話になり、感謝で一杯でした。

(文責:編集部)

ボートでの救出作業

1階が浸水したタウンハウスと水没した車



Memorial Drive と Allen Parkway

【お役立ちサイトやアプリ】

FEMA (https://www.fema.gov/)
Federal Emergency Management Agencyの略称で、アメリカ合衆国連邦緊急事態管理庁。Reservoirの水位なども発表。

Houston RECOVERS
(https://houstonrecovers.org/) ヒューストン市のハービー復興に関する情報サイト。

Nextdoor (https://nextdoor.com/)
ご近所さんで情報を交換できるサービス。近所の細かな情報を得るには一番有効。会員の間でもよく使われた模様。アプリも有。

Houston Transfar
(http://traffic.houstontranstar.org/layers/)ヒューストン市内道路情報、市内の通行止めなどがわかる。

Hurricane Tracker 地元局KPRCが提供するハリケーン情報アプリ。ハリケーンの進路と雨雲の動きがリアルタイムでみれる。

WAZE カーナビアプリ。登録者がお互いに情報を提供するので市内の通行止めや渋滞がよりリアルタイムにアップデートされる。

【ハリケーンでよく使われる英語】

Tropical Depression - Tropical Storm – Hurricane: 最大風速によって弱い順に、「熱帯低気圧→熱帯暴風雨 → ハリケーン」と分類されていますが、日常用語と専門用語の分類は混乱して一般に使用されていることが多いです。

Flash Flood Watch: Watchは洪水注意報、Flash Flood Warningは警告でもっと深刻な状況です。同じように竜巻警報(Tornado Warning)もあります。

Mandatory Evacuation:強制避難。Voluntary Evacuation(自主避難)とは異なり、この命令(Order)が出た時に従わない場合は、レスキュー隊の救助を受けることができない可能性があることを覚悟しなさいということになります。

Storm Surge:嵐によって生じる高潮。

FEMA:Federal Emergency Management Agencyの略称で、アメリカ合衆国連邦緊急事態管理庁のこと。大災害に対応するアメリカ合衆国政府の政府機関であり、天災にも人災 にも対応。連邦機関、州政府、その他の地元機関の業務を調整することを請け負うほか、家屋や工場の再建や企業活動・行政活動の復旧にあたり、資金面からの支援を行っています。

Curfew:外出禁止令(地区や時間が指定されることがあるので、要注意。)

Looter:lootingは略奪という意味ですが、被災した家屋や店など荒らし、金目の物を盗む人たちのことです。

Reservoir: 貯水池。 Reservoirの周りは堤防(levee)で囲まれており、それが決壊(breach)することが今回の大雨で懸念されました。ヒューストンには、バイユー(bayou)と呼ばれる米国南部独特の川があり郊外の住宅地の中をもくねくねと曲がりながら流れています。貯水池から放水(release)された水がこのバイユーを通ったため、ハリケーンハービーでは大きな被害が発生しました。ヒューストンでアパートを借りるときや、家を買う時に注意したいことの一つが、洪水になる可能性が高いBayou近辺を避けるということです。

このページでは医療の最前線でご活躍されているメディカルセンターのドクターにリレー方式でご登場頂き、健康と医療についてお話して頂きます。
前回の緒方大先生から血液内科がご専門の西本光孝先生にバトンが移りました。

第164回

白血病と骨髄移植について

医師（現MD Anderson Cancer Center博士研究員）
西本光孝

日本のテレビ番組において医療ドラマは人気が高く、「白い巨塔」、「ドクターX」、「コード・ブルー」などなど人気シリーズはたくさんあり、ここアメリカでも日本でも良く知られている「ER」や「グレイズアナトミー」、「Dr. House」などやはり多くの人気医療ドラマがあり、スマートな医師や個性的な医師が活躍します。登場する医師の専門科としては外科医や救急医が花形ですが、内科医や病理医などが主人公であるドラマもあります。

一方で、血液内科が関係するドラマといえば「セカチュー」に代表されるようにほとんどが白血病の患者さん側にフォーカスがあたる話で、ドラマにおいて血液内科医の存在感はないことが多いです。それだけ病気のインパクトが強いわけですが、そのため一般の方にとって血液内科医の認知度は低いです。今回はあまりなじみがないかもしれませんが、血液内科における代表的な病気である白血病とその治療法の一つである骨髄移植についてお話したいと思います。

ヒトが備えている機能“免疫システム”

まず最初に“免疫システム”についてお話します。ヒトは細菌やウイルスなどの感染症から身体を守るための機能である“免疫システム”を持っています。この“免疫システム”の中心的な役割を担っているのが、血液中に含まれている白血球という細胞です。細菌やウイルスなど外敵から体を守るために血液中をパトロールしています。白血球は骨の中にある骨髄という場所で、白血球の元になる細胞である“造血幹細胞”から日々、作られています。白血球には骨髄系の白血球とリンパ系の白血球がありますが、リンパ系の白血球は血液だけでなく、リンパ管を通って同じく全身のリンパ節を巡回しています。細菌やウイルスなどの外敵が侵入してくると、それを感知し、攻撃を仕掛け、仲間を呼んで、効率的に排除します。これが“免疫システム”であり、ヒトが生きていくには欠かせない重要な機能です。

白血病とは

この“免疫システム”の中心的な役割をしている白血球が何らかの原因で“がん化“してしまったものが、白血病や悪性リンパ腫といわれる病気です。残念ながら、なぜ白血病になってしまうのか、日常生活における危険因子といったものはなく、予防ができない病気です。

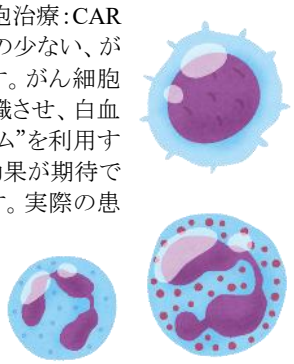
さらに、通常のがんに比べて進行が早いことが多く、元々全身を巡回している白血球が“がん化”したものなので病気を発症した段階で“がん細胞＝白血病細胞”は全身に広がってしまっており、最も厄介な“がん”の一つです。治療としては全身に広がってしまっているため、手術はできず、化学療法という抗がん剤を使った治療が主に行われています。

白血病治療における骨髄移植の役割

残念ながら、化学療法だけでは全身に広がった白血病細胞を完全に駆逐することはできず、一時的に治療効果があっても再発してしまうことが多くみられます。そういった化学療法だけでは治りきらない患者さんに対して開発されたのが骨髄移植（正確には“造血幹細胞移植”と呼ばれ、骨髄移植も含まれます）です。骨髄移植はここテキサス州生まれの医師エドワード・ドナル・トーマスによって開発されました。抗がん剤などの薬の力だけでなく、ヒトのもつ外敵を排除する“免疫システム“を利用した革新的な治療法です。肝臓移植や肺移植など固形臓器移植と同じように、ドナーさんから臓器である骨髄を提供してもらい患者さんに移植します。（骨髄は血液のような液体なので移植といっても、メスで患者さんの身体を切ったりすることはなく、点滴のようにして患者さんの身体に投与されます。） このとき、ドナーさんのもつ”免疫システム“によって細菌やウイルスではなく、白血病細胞を攻撃させます。いわゆる免疫治療と呼ばれるものです。骨髄移植の開発により抗がん剤などの薬だけでは治らない患者さんを救うことができるようになりました。この功績によりトーマス博士は1990年にノーベル生理学・医学賞を受賞しています。

骨髄移植の問題点と新たな免疫治療の展望

しかしながら、骨髄移植には大きな問題点があります。ドナーさんの”免疫システム“は白血病細胞だけでなく、正常な患者さん本人の細胞も攻撃してしまいます。これは“移植片対宿主病”と呼ばれ、患者さんを死に至らしめる重篤な合併症です。さまざまな免疫抑制剤と呼ばれる”免疫システム“を抑える薬を工夫しながら治療が進められていますが、そもそも白血病細胞を攻撃するための免疫治療において、”免疫システム“を抑え過ぎてしまうと白血病に対する効果が弱まってしまうというジレンマに陥ってしまいます。そこで現在は、白血病細胞に対する”免疫システム“の攻撃力は妨げないようにする手法が研究されています。なかでも、白血病細胞の特徴的な“顔”である標的マーカーを、白血球の遺伝子に組み込み、白血病細胞だけを攻撃するように作成された白血球を投与する治療（キメラ抗原受容体発現T細胞治療：CAR-T細胞治療）が開発されつつあり、副作用の少ない、がん特異的な治療法として期待されています。がん細胞の特徴的な“顔”である標的マーカーを認識させ、白血球の外敵を攻撃する力である“免疫システム”を利用するため、白血病だけでなく、他のがんにも効果が期待できる治療法として研究開発が進んでいます。実際の患者さんへ効果的な治療が届けられるように今後も引き続き研究の進展が望まれます。



次回は消化器外科がご専門の出口靖記先生です。
出口先生とはソフトボールチームで知り合いました。こちらでは大腸がんの基礎研究をされていますが、ソフトボールで見せる見事なグラブさばきと身のこなしからは、医療ドラマに出てきそうな華麗な外科医を想像させるような雰囲気を持った先生です。

駐妻のヒューストン日記

第165回　小林眞弓 さん

2015年8月、渡米2日後に、スーパーの駐車場で愛車が擦られる様子を一部始終目撃するという悲しい出来事で、初めての駐在生活をスタートさせた小林家です。

子供達は今も日本を恋しく思いつつ、未熟な英語ながらこちらでの生活を勉強や習い事で毎日忙しくも楽しんでいる様子です。私はというと、せっかく来たのだから楽しもうと、コーラス、クロスステッチ、カード教室、テニス、ESLと色々な事に手を出すも、長続きしなかったり、あまり身についていなかったりです。肝心な英語は、カラオケで英語の歌詞が出てくると歌えない、という何とも絶望的な状態で渡米し、残念ながら、今もたいして上達していないのです。

そんな私ですが、YouTubeなどで何とか覚えた着付けではありますが、着物でお出かけする事が好きで、ランチなどカジュアルに着て行けるチャンスを狙っています。(時には友人達を招いて、割烹着姿でカラオケ喫茶のママごっこをしてみたり、着物姿でキックスケーターに乗った事も…。いい大人なのに随分ふざけていますね。反省。)日本で着物を着ると、どうしても『特別な日的』な印象でなかなか気軽に着れなかったのですが、ここではそんな事もあまり気にならず、渡米してから着る機会がぐっと増えたのでとても嬉しいのです。たまたまデニムで作った着物を着ていた時に外国の方から話しかけられたので、拙い英語で『この着物はデニムなんですよ。触ってみて下さい』と伝えたところ、とても喜んでもらえました。最近では着物好きの数人が集まって、着付けの練習をしています。着物仲間が出来るのは嬉しい限りです。そしてそんな仲間と”着物deランチ”に行く事が目標です。近いうちに行けるといいんですが。

また、友人が活動している Feel Japan という、日本の文化や生活を気取らず飾らず紹介しているグループに時々参加させてもらっています。参加するのは主に着物や浴衣を着てのイベントの時ですが、子供達も日本にいた頃に習っていた日本舞踊を披露する機会を頂いたりと、親子で貴重な経験をしています。

未だに低レベルな英語で、ジェスチャーと愛想笑い、時には絵を描いて乗り切る私に、子供の学校やESLの先生、お隣さんご一家はとても温かく優しく接して下さいます。何となくノリでハグは出来るけど、肝心な事が聞き取れない、伝えられない…。もうすっかり諦めた英語も、やはりこういう時に『話せるようになりたい』という気持ちがこみ上げてきます。

まもなく駐在生活も四年目、今からでもESLに本腰を入れたら、渡米する時に口ずさんだように、♪友達100人出来るかな♪？

ピーカンキッズ活動報告

—あそぼーかい—

5月の「あそぼーかい」は18日(金)19日(土)に開催されました。今回のテーマは、時の記念日、梅雨、父の日と、6月の行事盛りだくさんでした。6月10日は、時の記念日です。いつも時間に追われながら子育てに奮闘しているママ達ですが、この日はつかの間の親子の時間をゆっくり楽しみました。

はじまりのあいさつ

トラお君、トラ子ちゃんと梅雨が大好きな生き物の当てっこ。「カエル!」、「カタツムリ!」の声がきこえてきました。その後、時計のお話を聞きました。

エプロンシアター “カエルののどじまん”

ケロケロ…クワクワ…と、カエル達は自分の歌の自慢ばかりしています。「のどじまんたいかい」を開くことになりましたが、さてどうなったのでしょう。カーン♪の鐘の音が面白かったようです。

今月のうた “とけいのうた”

大きい針と小さい針の振りもつけて、元気にうたってくれました。

からだあそび “おはなしゆびさん”

お馴染みの歌です。お兄さんゆびを、おじさん!と言ってみたり、ちびっ子達の発想は、面白いですね。

5月のお誕生会

5月生まれのちびっ子と、夏休みの間にお誕生日を迎えるちびっ子が来てくれて、みんなでお祝いしました。お誕生月のご参加をお待ちしています。

工作 “とけいづくり”

紙皿の時計に、お父さんの顔を描いてもらいました。いつもがんばってくれているお父さん、喜んでくれるといいですね。

初めてのちびっ子もお待ちしています。「あそぼーかい」は月に2回、平日1回と土曜日1回開催しています。三水会センターのキッズルームへ、どうぞお気軽にお越し下さい。

ピーカンキッズ今後の開催予定

＜あそぼーかい＞　6月、7月、8月はお休みです。
＜読み聞かせの会＞　6月、7月、8月はお休みです。

＊変更がある場合もございます。三水会センター内のポスターやコミュニティーサイト:ヒューストンなび＜hounavi.us＞でもご確認ください。
＊スタッフは随時募集中です。ご興味をお持ちの方やお問い合わせは、次のアドレスまでご連絡ください。お待ちしております。
あそぼーかい　mama.asobokai@gmail.com
読み聞かせの会　houstonyomikikase@yahoo.co.jp

No.122

ヒューストン知っとん物語

By Kumiko

Houston Walker

<EVENT>

·June 21 & July 19 After Dark @Houston Zoo(6200 Hermann Park Dr. Houston TX 77030)

この夏期間限定で、ヒューストン動物園にて大人のための新しいサマーイベントを開催。18時から夜の動物園を散策した後、20時からイベントスタート！6/19は「Sip and Sea」と題し、水生動物について学べる他、ジャズのライブ演奏を聴きながら、星がきらめく夜空の下でワインをゆっくり楽しめる。7/21は「Gouin Country」でカントリースタイルのゲームやファンイベントが目白押し。チケット：$35
www.houstonzoo.org/after-dark

·July 17-22 Love Never Dies @The Hobby Center for the Performing Arts (800 Bagby St, Houston, TX 77002)

英国の作曲家アンドリュー・ロイド・ウェバーが、自身の代表作である「オペラ座の怪人」の続編として製作したミュージカル。作品はオリジナルのファントムの最期から10年後が舞台。クリスティーヌ・ダーエは匿名の演出家からNY市のオペラハウスに招聘され、10歳になる息子グスタフと夫のラウルを伴って渡米。そこで死んだと思っていたファントムと再会する。この舞台の最大の魅力はやはり音楽。妖しくも甘美で陶然とさせるメロディラインが感動的。チケット：$35～$165
https://houston.broadway.com/shows/andrew-lloyd-webbers-love-never-dies-phantom-returns/

<Newly Open>

·Opened in February The Post Oaks Hotel @Uptown (1600 West Loop S, Houston, TX 77027)

Houston RocketsやラスベガスのGolden Nugget Casino Resortsオーナーでもあるヒューストンの実業家、ティルマン・ファティータ氏による新しいラグジュアリーホテルがオープン。38階建てのホテルのエントランスを入ると、スワロフスキーのシャンデリアが飾られた豪華なロビーが広がる。客室はスタンダードルームでも500sftという広さで、良質なエジプト綿のベッドリネンに大理石のバスルームと優雅な雰囲気。アートスパやサロン、ジム、レストラン、VIPラウンジなど施設も充実し、高級感たっぷりなホテルとして話題。
www.thepostoakhotel.com

·Opened in March FIG & OLIVE Houston @The Galleria (5115 Westheimer Rd., Houston, TX 77056)

NYの五番街やアッパーイースト、LAのメルローズプレイスなどに展開するスモールチェーンの地中海レストランが、ヒューストンに待望のオープン。太陽が差し込む明るいムードの広々とした店内では、店名の通り、どの料理にもFig(イチジク)やオリーブが使われたフレッシュなディッシュの数々が楽しめる。
www.figandolive.com/restaurants-and-menus/houston-the-galleria

·Opening in June NOBU Houston @The Galleria (5115 Westheimer Rd. Houston, TX 77056)

オープンの発表以来約2年、ついに6月にオープンが決定したセレブリティ日本食レストラン「NOBU Houston」。1994年に俳優ロバート・デニーロの熱いアプローチにより第1店舗「NOBUニューヨーク」を開店。その後グローバルに店舗展開を遂げ、現在約40店舗を擁する。和食と洋食を融合した装飾創作料理は、味も盛り付けもすべて凝っていて、美しいアレンジにため息！
https://noburestaurants.com/houston/home-2

編　集　後　記

ビルを出ると「むわっと」した空気にまとわりつかれ、初夏から暑さを感じずにはいられません。5月の後半で、メキシコ湾のあるビーチは人でいっぱいでした。今月号が出る頃には夏休みを楽しんでおられる方も多いのではないでしょうか。

さて、今号のガルフストリームは、今年の商工会春の行事の締めくくり「ピクニック」を1面、6面、7面に、「商工会議事録」、「会員消息」、「会社紹介」、「テキサス会」結果報告、「日本テキサス経済サミット」、4月に行われ誌面の都合で今号でのご紹介となった「ジャパンフェスティバル25周年記念レセプションのパネルトーク」とフレデリックスバーグで行われた「平和日本庭園の再開所式」、三水会センターの「夏季休館のお知らせ」、ハリケーンシーズンの到来に合わせた総領事館からの安全情報発信「ハリケーンに備えて」と昨年ヒューストンにも被害をもたらしたハリケーンハービーの「ハリケーン体験談」とハリケーン対策特集が続き、「テキサスメディカル」、「駐妻日記」、「ピーカンキッズ」、「ヒューストン知っとん」、そして、「Houston Walker」になります。

今号は商工会のイベントに加え、この春、テキサスで開催された特別行事をいくつかご紹介となっています。また、HoustonWalkerではイベント情報に加え、Newly Openの情報も紹介されています。皆様、ご参考に。一方、久しぶりに行こうとしたお店とか去年開店したと思っていたお店の閉店などもあり、ダイナミックに動いているヒューストンを感じさせていただいています。今月も、「ガルフストリーム」を宜しくお願い申し上げます。

（佐藤大地）

ガルフストリームは毎月15日発行です。

発　　行：ヒューストン日本商工会
発行責任者：本多　之仁
編集委員長：佐藤　大地
構成・編集：芦田史佳/五十木希実/月橋奈々子/彦坂邦子/峯恵子/吉野孝子
印　　刷：Sel-Fast Printing Copies & Laminating
（713）782-2000